

学校教育目標	「笑顔で結びつなげよう南吉田」 ○ 進んで学習し、ねばり強く課題に取り組む子どもを育てます。(知) ○ 礼儀やまじりを大切に、互いのよさを認め合い、周りの人と豊かに関わる子どもを育てます。(徳) ○ 自他の命を大切に、心と体を鍛え、進んで健康づくりに取り組む子どもを育てます。(体) ○ まちを愛し、様々な関わりの中で生き方を学び、自分が出来ることを進んで実践する子どもを育てます。(公) ○ いろいろな人とのコミュニケーションを通して、違いや共通点を理解し、尊重できる子どもを育てます。(開)					
	創立 121 周年	学校長 金子正人	副校長 生武智子	2 学期制	一般学級: 20	個別支援学級: 7
学校概要	児童生徒数: 567 人		主な関係校: 横浜吉田中学校 共進中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	横浜吉田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・基礎・基本をもとによりよく問題を解決する力 ・自分を大切にし他者と共に生きる力 ・心身ともに健やかに生きる力 ・地域のために他者と協働する力 ・多様性を尊重し共生する力	横浜吉田中学校 本町小学校 南吉田小学校 みなとみらい本町 小学校	持続可能な未来の社会を創る担い手として ◎まちを愛し、役立意識を高め、関わり・つながりを大切にする子ども ◎多様性を尊重し、共生する力をもつ子ども ◎自分を律し、人を思いやる優しさをもつ子ども ◎学びの基礎・基本を身につけ、心身ともにたくましく生きる子ども ◎身につけた知識・技能のもと主体的、協働的に課題解決に向かう子ども ・小中学校の授業研究会に参加し、学習について学びの確認と授業力向上 ・児童生徒に関する継続的な情報共有と指導についての共通理解 ・小中合同あいさつ運動の実施等、児童生徒交流の場の設定 ※学地地連事業の協働 ・国際教室、個別支援級、小中連絡会について各校種間の相互理解とその促進 ・ブロック内で育成を目指す資質・能力の9年間で育てる学びのつながり・具体的取組について継続的な協議の実施

中期取組目標	「地域や人とのつながりを大切にした教育活動で、自他のよさを実感し、多様性を尊重できる子どもを育てます」 ・地域や人とのつながりを大切にした授業づくりで学ぶ楽しさを感じ、自ら学ぶことができるようになります。(自立した学習者) ・異学年や幼保との交流を通して自己肯定感を高め、他者をかけがえのない存在として尊重できるようにします。 ・健康や安全に対する関心を高め、よりよい生活習慣や運動習慣を形成できるようにします。 ・まち探検や出前授業等を通してまちを知り、まちに貢献し、まちに愛着をもてるようになります。(社会貢献) ・障害の有無、国籍や文化の違い等を超えて互いの良さを認め合えるようになります。(多様性の尊重)
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	生きて働く知	①プリントやAIDリルを用いた朝学習、Yomokka併用の朝読書、読み聞かせ機能付きテスト、MY検定、放課後学習支援等で個別最適な学びを実現させる。②授業や行事の振り返りで学習状況や成長をメタ認知し自己肯定感を高める。③思いや願いをもとに人とのつながりを大切にした授業づくりを行い知的好奇心を高める。
徳	豊かな心	①ペア学年交流、幼保小交流、福祉の出前授業等人のつながりを大切にした教育活動で共感力や気遣い、思いやりの心を育む。②各行事や児童会活動で児童の願いや思いを実現させることで、社コンピを育み、自立した学習者を育成する。③キャリアパスポートに自分自身の成長の足跡を残し自己肯定感を高める。
体	健やかな体	①プロチームと連携しサッカーやバスケの体験教室を開き運動への興味関心を高める。②体力アップ集会で体力向上や健康安全への意識を高める。③健康診断や体力・運動能力調査の分析から課題を抽出し学校保健委員会で改善を図ったり、体育科で運動能力や技能の向上に資する授業改善を行ったりする。
公	多文化共生	①日本人と外国人児童が共に学ぶ学校として多文化共生教育(国際読書会、運動会、多文化共生授業、つながる遊び、人権集会、母語教室等)を推進し国や文化の違いを認め共に生きる力を育む。②児童会年間計画に多文化共生を位置づけ児童が主体的に発信できるようにする。③地域連携で多文化共生教育を充実させる。
いじめへの対応		①健康観察やアンケート、教育相談等で事実を把握し、いじめ防止対策委員会を中心に安心して学校生活を送ることができるようにする。②道徳を中心に全ての教育活動でいじめ防止や生命尊重について指導する。③「笑顔で結びつなげよう南吉田」を意識した児童会活動で児童自らいじめ防止キャンペーンを推進する。
人材育成・組織運営(働き方)		①OJTで経験の浅い教職員のスキルアップを図るとともにメンターチーム研修を通して悩みを共有できる場づくりを行う。②校内研究研修を充実させ主体的に学校づくりに参画する意識を高める③教育振興基本計画や経営計画に照らして教育DXを推進することで校務の効率化を図り、働きやすい職場づくりを進める。
児童指導		①「南吉田小学校スタンダード」を子ども自身が理解し定着を図る。②児童指導全体会で情報を共有し組織的な対応ができるようにする。③関係機関連携(区、児相、警察等)を充実させ、学校だけでは解決できない課題の改善を図る。SC、SSWと常時連携し子どもが安心して過ごせる環境づくりを行う。
特別支援教育		①一般級と個別支援学級の交流を充実させインクルーシブな環境づくりを促進する。②国際教室と在籍学級との連携で日本語能力を伸長させる。③特別支援教室でのきめ細かい支援で学力を定着させる。④横浜国大や地域協働本部と連携した放課後学習支援で読み書きに困難を感じる児童の学力向上に係る調査研究を行う。
地域学校協働活動		①学校HPや公式noteで教育活動を発信し地域に開かれた学校づくりを進める。②横浜橋通商店街や町内会の人と関わる実践を通して子どもがまちを知り、愛着をもてるようにする。③連合町内会と学校、横浜エクセレンスが連携する「地域防災訓練」を試行し効果を検証する。④学校運営協議会を充実させる。
a15		b10
担当		